

# 東日本大震災 石川民医連支援ニュース

No.11 2011年3月29日

石川民医連事務局 TEL 076-253-1458

## 第2次隊報告会!

29日午後1時半から城北病院リハ室で行われた報告会に多くの職員が参加しました。大野先生のあいさつの後、勤務の都合で参加できない笠間Nrsをのぞく3名が自分たちの体験と今の気持ちを話しました。

岩田先生は、坂病院でのトリアージ含めた医療支援や、避難所での取り組みなどを報告。避難所やそのトイレの衛生状態も悪く、腹痛や下痢などの症状を訴える人が多くなっている。医療的な対応とともに、トイレ掃除が感染予防に不可欠であることなどを訴えられました。最後に、自分も支援に行く前は「何ができるだろうか、自己満足ではないだろうか」と思わなかったわけではないが、実際行って見て、やるべきことすべきことはたくさんあり、支援に行けば民医連の良さを実感できると強調。考えるよりもまず行動!と、アドバイスをされました。

東さんは避難所では救援に来た人が自分たち

のできる事を考え行動し自発的なチームとなって行動していることや、外からの働きかけに全く反応しない子どもがいる事など心のケアが大変重要になってきていることを話しました。

大平さんは避難所が思ったよりも寒く埃も多く環境が悪く、食料も偏っていてストレスがたまっている事など話し「支援に行ってきたというだけでなく、石川で継続的に支援していきたい」と話しました。

最後に武田県連事務局長より全国の支援の拠点が岩手と宮城3か所に範囲をひろげ、医師・看護師だけでなくリハや介護の要求も高まっており支援を広げていくことと義援金の訴えを行いました。



★ニュースは全日本民医連、石川民医連ともそれぞれのホームページで見ることができます。

報告集会には、奨学生の皆さんも参加してくれました。

